

第5号事業

平成26年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(1)
事業名	日本語学習支援事業 (1)一般支援(自主) 親子日本語教室			担 当 課	文化交流課
				変更内容	事業拡充
目 的	託児できる環境を作り、子育て中の親が日本語を学習できる機会を確保するとともに、学習が必要な段階の子どもへの日本語学習支援も行う。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	37	20	17	部	経常増減の部
自主財源	595	557	38	大科目	事業費
区補助金	1,583	1,554	29	種別	自主事業
経常収益計	2,215	2,131	84	(単位:千円)	
事業費	632	577	55		
人件費	1,583	1,554	29		
経常費用計	2,215	2,131	84		

事業の計画

<p>1 実施内容(予定)</p> <p>(1)親子日本語教室 会場:新宿区立大久保小学校 回数:通年で全30回実施(平成25年度は全20回) 参加人数:各回20~25人程度 共同主催:新宿虹の会 研修会:年1回開催 その他:託児対応</p> <p>(2)日本語ボランティア交流研修会 会場:新宿文化センター 小ホール 開催時期:1~3月の間に1回開催予定</p> <p>2 成果指標</p> <p>(1)親子日本語教室 延べ参加者(学習者)数:750人(平成24年度実績:460人)</p> <p>(2)日本語ボランティア交流研修会 参加者数:200人(平成24年度実績:185人)</p> <p>3 実施上の課題 子どもへの支援を充実させていくため、幼児・児童に向けたボランティアの指導力向上を図る。</p> <p>4 顧客満足度の向上方策 スキルアップのための研修会を年1回開催し、ボランティアの日本語支援能力の向上を促す。</p> <p>5 実績 平成24年度 (1)親子日本語教室 回数:全20回(10回×2期) ①前期参加者数:24人 ②後期参加者数:22人 (2)日本語ボランティア交流研修会 (平成24年度は連続講座も実施) 単独講座:新宿文化センター小ホール:平成25年1月19日(土)実施 参加者数:149人 連続講座:新宿文化センター第1会議室:平成25年2月6日、13日、20日実施 参加者数平均:36人</p> <p>6 対前年度予算増減説明 (1)実施回数変更(年20回から年30回)による通信運搬費・消耗品費・委託費の増 (2)参加者増に伴う保険料・諸謝金の減</p>	<p>根拠法令</p> <p>新宿区自治基本条例</p> <p>事業開始</p> <p>平成16年度</p>
--	--

平成26年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(2)
事業名	日本語学習支援事業 (2)一般支援(受託) 新宿区日本語教室			担 当 課	文化交流課
				変更内容	事業拡充
目 的	多様な日本語学習の場の提供を行い、区内の10%を占める在住外国人に、生活に必要な最低限の日本語を習得し日本人との意思疎通を深めてもらうことにより、多文化共生コミュニティの活性化を目指す。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	15,422	12,977	2,445	大科目	事業費
経常収益計	15,422	12,977	2,445	種別	受託事業
事業費	6,358	4,795	1,563	(単位:千円)	
人件費	9,064	8,182	882		
経常費用計	15,422	12,977	2,445		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1)新宿区日本語教室の実施

期間:通年。3学期に分け、教室の空き状況に応じて随時入室可能とする。

対象:生活に必要な最低限の日本語を習得する必要がある外国人 720人程度

内容:媒介語を用いず、日本語を使って日本語を教える直接法による指導

外国人にとって生活に必要な最低限の日本語の習得を支援する。

教室数:新宿区内施設10ヵ所12教室を実施

(2)新宿区日本語教室運営に必要なボランティアの養成

期間:年間1コース・全30回・60時間(基礎知識と実習)

対象:日本語ボランティア活動に関心がある人 30人

(3)新宿日本語ネットワークと連携した無料の日本語学習の場の提供

回数等:通年、月・火・木・土曜日の午後2時間程度

内容:日本語初学者に対し、生活に必要な最低限の日本語を指導する。

対象:日本語初学者の外国人全般 各回40人

参加費:無料

場所:しんじゅく多文化共生プラザ

(4)日本語リソースコーナー及びボランティア活動支援コーナーの管理

内容:しんじゅく多文化共生プラザ利用者に提供する書籍及び日本語ボランティアへの情報提供や必要な備品を常備するためのスペースを整備する。

場所:しんじゅく多文化共生プラザ

2 成果指標

(1)新宿区日本語教室学習者数/720人(平成24年度実績:560人)

(2)ボランティア養成講座受講者数/30人(平成24年度実績:16人)

(3)無料日本語学習延べ参加者数/6,000人(平成24年度実績:4,136人)

3 実施上の課題

(1)日本語教室について施設や曜日の設定等、参加者の利便性を考慮した学習環境の整備を行う。

(2)日本語教室について、外国籍住民人口や学習者数の動向に対応した教室配置を図る。

(3)新宿日本語ネットワークの活動を周知し、学習者が増えるよう支援する。

(4)日本語ボランティア活動支援コーナーをより良い方法で周知・運用する。

4 顧客満足度の向上方策

(1)学習者アンケートにより、新宿区日本語教室や無料日本語教室の満足度を測定する。

(2)受講者アンケートにより、ボランティア養成講座の満足度を測定する。

(3)利用者アンケートにより、支援コーナー等の満足度を測定する。

5 実績

平成24年度

(1)新宿区日本語教室学習者数/560人(延べ学習者数:8,832人) ボランティア数/70人

(2)ボランティア養成講座受講者数/16人(延べ受講者数:377人)

(3)無料日本語教室(新宿日本語ネットワーク)

開催回数:165回(月・火・木・土の午後2時間程度) 会場:しんじゅく多文化共生プラザ

6 対前年度予算増減説明

しんじゅく多文化共生プラザ運営支援事業廃止に伴い、同事業に措置されていた日本語学習支援事業経費を本事業に移管したことによる増

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成5年度
------	-----------	------	-------

平成26年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(3)
事業名	日本語学習支援事業 (3)子ども支援(自主) 夏休み・春休み子ども日本語クラス			担当課	文化交流課
				変更内容	-
目 的	外国にルーツをもつ日本語が不自由な児童・生徒が学校や地域コミュニティで円滑な生活を送れるようにするため、夏休み・春休み期間を利用し、日本語の初期指導を行う。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	15	15	0	部	経常増減の部
自主財源	515	748	△ 233	大科目	事業費
区補助金	792	777	15	種別	自主事業
経常収益計	1,322	1,540	△ 218	(単位:千円)	
事業費	530	763	△ 233		
人件費	792	777	15		
経常費用計	1,322	1,540	△ 218		

事業の計画

<p>1 実施内容(予定) 夏休み・春休み子ども日本語クラス 学校の授業のない長期休業を利用し、外国にルーツをもつ日本語が不自由な児童・生徒を対象とした日本語教室を実施する。 会場:しんじゅく多文化共生プラザ 時間回数等:夏休み・春休み各10回程度 対象:(1)新宿区立の小中学校に通い、日本語の学習が十分でない児童・生徒 (2)平成26年度1学期以降、新宿区立の小中学校に編入する児童・生徒 定員:夏休み・春休み各回15人程度 内容:日本語の初期指導</p> <p>2 成果指標 参加者数/30人(平成24年度実績:15人) (夏休み、春休み各15人)</p> <p>3 実施上の課題 新宿区に転入してくる外国人児童生徒へ本事業の周知を行い、参加者数の増を図る。</p> <p>4 顧客満足度の向上方策 学習者個々のニーズを把握し、それに合った日本語支援を調整・実施できる講師を選定する。</p> <p>5 実績 平成24年度 夏休み(9日間)参加者数:8人 延べ参加者数:61人 春休み(6日間)参加者数:7人 延べ参加者数:42人 平成25年度 夏休み(8日間)参加者数:8人 延べ参加者数:52人</p> <p>6 対前年度予算増減説明 講師の依頼先変更による諸謝金の減</p>	<p>根拠法令</p> <p>新宿区自治基本条例</p> <p>事業開始</p> <p>平成5年度</p>
---	---

平成26年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(4)
事業名	日本語学習支援事業 (4)子ども支援(受託) 放課後日本語学習支援			担 当 課	文化交流課
				変更内容	-
目 的	外国人の児童生徒が学校や地域コミュニティで円滑な生活を送れるようにするため、外国人児童生徒の日本語学習および教科学習支援を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	15,248	14,438	810	大科目	事業費
経常収益計	15,248	14,438	810	種別	受託事業
事業費	9,356	8,615	741	(単位:千円)	
人件費	5,892	5,823	69		
経常費用計	15,248	14,438	810		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)放課後日本語学習支援
回数等:放課後の時間帯、1回約2時間、上限70回
会場:外国人児童生徒が在籍する学校
対象:日本語サポート指導終了者 100人
内容等:マンツーマン方式により、日本語学習支援及び教科学習支援を行う。
- (2)子ども支援対象の日本語ボランティア養成講座
回数等:10回程度 2コース
会場:しんじゆく多文化共生プラザ
対象:児童生徒の日本語学習等支援に関心がある人 各コース30人程度
- (3)登録ボランティア対象の研修会
回数等:年3回程度
対象:登録ボランティア60人

2 成果指標

参加者数/340人(平成24年度実績:242人)
(日本語学習支援事業100人・日本語ボランティア養成講座30人×2回・研修会180人)

3 実施上の課題

- (1)各関係機関・関係事業と連携し効果的な日本語学習支援の仕組みを引き続き検討する。
- (2)ボランティアが活動しやすい条件(活動費や教材支援)を検討する。

4 顧客満足度の向上方策

定期的な研修会を行うことにより、ボランティアの支援能力の向上を図る。

5 実績

平成24年度

- (1)日本語学習等支援事業
小学生支援児童:61人・延べ2,067回 中学生支援生徒:37人・延べ1,288回
登録ボランティア:個人84人(23年度71人)、団体18人(23年度26人)※2団体が参加
- (2)子ども支援者対象の日本語ボランティア養成講座
前期(全10回):申込者30人、学習者30人(23年度34人):延べ300人
後期(全10回):申込者30人、学習者30人(23年度36人):延べ300人
- (3)登録ボランティア対象の研修会
①11月5日(火):「ボランティア相談会」参加者45人
②3月7日(金):「子ども日本語学習支援研修講座」参加者39人

6 対前年度予算増減説明

支援回数の実績増加による諸謝金の増

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成21年度
------	-----------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(5)
事業名	日本語学習支援事業 (5)子ども支援(受託) 夜の子ども日本語教室 *区計画事業			担 当 課	文化交流課
				変更内容	-
目 的	日本語能力が十分でないため教科学習に遅れがちになる外国語を母語とする児童・生徒に対し、教科学習支援及び日本語学習支援を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	7,507	7,802	△ 295	大科目	事業費
経常収益計	7,507	7,802	△ 295	種別	受託事業
事業費	3,798	4,666	△ 868	(単位:千円)	
人件費	3,709	3,136	573		
経常費用計	7,507	7,802	△ 295		

事業の計画

1 実施内容(予定)

夜の子ども日本語教室

会場:新宿区立教育センター・榎町子ども家庭支援センター

時間回数等:夜の時間帯 1回約2時間、週2回(ただし中学3年生のみ週3回)

対象:外国語を母語とする新宿区立の小学5年生～中学3年生 約60人

内容:日本語学習支援及び教科学習支援を行う。

また登録ボランティア対象の研修会も年2回程度開催する。

2 成果指標

登録学習者数/60人(平成24年度実績:59人)

(教育センター40人・榎町子ども家庭支援センター20人)

3 実施上の課題

(1) 各関係機関・関係事業と連携し効果的な日本語学習支援・教科学習支援の仕組みを検討する。

(2) ボランティアが活動しやすい環境を整備する(教材の購入・教室の利用方法など)。

4 顧客満足度の向上方策

ボランティアからアンケートを取り教室運営についてより良い方策を募る。

5 実績

平成24年度

(1) 登録学習者数:59人(平成23年度:48人) 229回開催

登録ボランティア数:88人

(2) ボランティア研修会/参加者数:44人(平成23年度:42人) 2回開催

6 対前年度予算増減説明

ボランティア活動費精査による諸謝金の減

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成20年度
------	-----------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-2
事業名	外国人のための高校進学ガイダンス			担 当 課	文化交流課
				変更内容	-
目 的	日本での高校進学に関する制度等への不安を抱える外国語を母語とする保護者及び生徒に対し、日本の進学事情について学ぶ機会を提供し、学習・生活におけるサポートを行う。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	1,362	1,390	△ 28	大科目	事業費
経常収益計	1,362	1,390	△ 28	種別	補助事業
事業費	182	219	△ 37	(単位:千円)	
人件費	1,180	1,171	9		
経常費用計	1,362	1,390	△ 28		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)時期:6月～7月上旬
- (2)対象:中学3年以下の外国語を母語とする生徒および保護者、その他進路指導等に携わる者
- (3)回数と参加者数:年1回、50人
- (4)会場:新宿区立教育センター・しんじゅく多文化共生プラザ等
- (5)内容:NPO法人の協力による外国人高校進学のガイダンス、外国人高校生による体験談、学習支援団体等による支援案内、個別質問及び相談対応

2 成果指標

参加者数/50人(平成24年度実績:28人)

3 実施上の課題

- (1)必要としている生徒や保護者に的確にガイダンス情報を伝えるため、進路指導や日本語指導教員等との連携を深め、各学校への働きかけを行う。
- (2)教育委員会や学校と情報共有を図り、ガイダンス実施内容や参加者ニーズについて情報を得る。

4 顧客満足度の向上方策

事業実施後の状況についての把握や情報提供等、内容の充実を図る。

5 実績

平成24年度

日時/平成24年7月22日(日) 13時30分～17時

会場/新宿区立教育センター5階中研修室

参加者数/28人

内訳)・中国語:12人(保護者:7人 生徒:5人※西早稲田中学校等)

・英語:3人(保護者:2人 生徒:1人)

・ミャンマー語:2人(保護者:1人 生徒:1人)・タイ語:4人(保護者:2人 生徒:2人)

・ネパール語:1人(生徒:1人)・タガログ語:2人(保護者:1人 生徒:1人)

・通訳なし:4人(ポーランド人保護者:1人 ポーランド人生徒:1人 放課後支援ボランティア:2人)

・スタッフ:22人(先輩高校生:3人 通訳:8人 その他運営スタッフ:11人)

平成25年度

日時/平成25年7月21日(日) 13時30分～16時30分

会場/新宿区立教育センター5階中研修室

参加者数/27人

内訳)・韓国語:3人(保護者:2人 生徒:1人)・英語:5人(保護者:3人 生徒:2人)

・中国語:11人(保護者:4人 生徒:7人)・ネパール語:5人(保護者:2人 生徒:3人)

・その他:3人(見学者:2人 資料のみ購入者:1人)

・スタッフ:27人(先輩高校生:4人 通訳:8人 その他運営スタッフ:15人)

6 対前年度予算増減説明

謝礼見直しによる諸謝金の減

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成19年度
------	-----------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-3
事業名	多文化交流事業			担 当 課	文化交流課
				変更内容	-
目 的	国際理解及び日本文化理解を深め、多文化共生社会を実現するためイベント・講座を実施する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	730	700	30	部	経常増減の部
自主財源	525	566	△ 41	大科目	事業費
区補助金	1,971	1,947	24	種別	自主事業
経常収益計	3,226	3,213	13	(単位:千円)	
事業費	1,255	1,266	△ 11		
人件費	1,971	1,947	24		
経常費用計	3,226	3,213	13		

事業の計画

<p>1 実施内容(予定)</p> <p>(1)多文化交流プログラム 回数:年間合計28回 定員:平均30人 会場:しんじゅく多文化共生プラザ、生涯学習館、地域センター等 内容:連続講座20回×1本、多文化共生CAFE6回、 子ども向け異文化体験講座1回、国際理解講座1回、合計28回</p> <p>(2)国際交流区民のつどい・ひなまつり 回数:年1回、2月下旬～3月上旬に実施 会場:新宿文化センター小ホール、展示室及び4階全会議室 内容:日本文化体験(日本文化に関する舞台発表、茶道、華道、水墨画等) 共同主催:女性海外研修者の会</p> <p>(3)国際交流サロン 回数:各月第2金曜日、18時45分～20時30分 会場:しんじゅく多文化共生プラザ 内容:交流会、参加者50～60人程度</p>			
<p>2 成果指標</p> <p>参加者数/1,700人(平成24年度実績:1,580人) 多文化交流プログラム(30人×28回=840人) 国際交流区民のつどい・ひなまつり(200人×1回=200人) 国際交流サロン(55人×12回=660人)</p>			
<p>3 実施上の課題</p> <p>(1)国際理解・多文化共生理解のきっかけとなるよう気軽に楽しめる魅力ある講座・イベントを実施する。 (2)各国観光局やNPO団体と連携を強化するとともに生涯学習地域人材交流ネットワーク制度登録者を積極的に活用する。</p>			
<p>4 顧客満足度の向上方策</p> <p>参加者および日本語学校向けアンケートの結果を踏まえ、より満足度の高い事業計画を行う。</p>			
<p>5 実績</p> <p>平成24年度 (1)多文化交流プログラム/通年28回実施 延べ参加者数:1,155人(見学者・同伴者含む) (2)国際交流区民のつどい・ひなまつり/2月23日(土)実施 参加者数:226人(うち有料参加者数191人) (3)国際交流サロン/通年で12回実施 延べ参加者数:768人</p>			
<p>6 対前年度予算増減説明</p> <p>多文化交流プログラム実施内容変更による消耗品費の減</p>			
根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成5年度

平成26年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-4
事業名	外国人相談窓口運營業務受託			主 管 課	文化交流課
				変更内容	事業拡充
目 的	外国人住民の生活相談に各言語(英・中・韓・タイ・ミャンマー・ネパールの6か国語)で対応し、問題解決へのアドバイスを対面または電話にて無料で行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	21,710	21,108	602	大科目	事業費
経常収益計	21,710	21,108	602	種別	受託事業
事業費	16,879	16,274	605	(単位:千円)	
人件費	4,831	4,834	△ 3		
経常費用計	21,710	21,108	602		

事業の計画

1 実施内容(予定)

在住外国人の生活相談に各言語で応じ、問題解決へのアドバイスを対面、電話にて無料で行う。
 曜日ごとに英語、中国語、韓国語、タイ語、ミャンマー語、ネパール語で対応
 区内幼小中学校等が保護者等に配布する書類の翻訳依頼への対応(通年実施)

(1)外国人相談窓口 9:30～12:00、13:00～17:00

会場:新宿区役所1階

対応言語:英語/月～金、中国語/月～金、韓国語/月～金

(2)外国人相談コーナー 10:00～12:00、13:00～17:00

会場:しんじゅく多文化共生プラザ

対応言語:韓国語/月(13:00～17:00)・金、中国語/火・木、英語/水(第1、3、5)・金(第3)、
 タイ語/火、ミャンマー語/木、ネパール語(平成26年度新設)/火(13:00～17:00)

2 成果指標

相談利用者数/5,682人(平成24年度実績:5,412人)

(前年度比5%増)

3 実施上の課題

外国人住民者数や相談件数等のデータを解析し、どのような窓口が望まれているのかの調査を行い、区に情報提供を行う。

4 顧客満足度の向上方策

相談員のための研修会等の機会を提供する。

5 実績

平成24年度

(1)外国人相談窓口(会場:新宿区役所1階 対応言語:英語/月～金 中国語/月・水・金 韓国語/火・木)
 相談利用者数:4,448人(平成23年度:3,987人 対前年度比:111.56%)

(2)外国人相談コーナー(会場:しんじゅく多文化共生プラザ 対応言語:韓国語/月・金 中国語/火・木
 英語/第1,3,5水、第3金 タイ語/火 ミャンマー語/木 在留資格/第2金)

相談利用者数:964人(平成23年度:885人 対前年度比:108.93%)

6 対前年度予算増減説明

(1)研修会参加のための旅費交通費の増

(2)ネパール語相談窓口の新規開設に伴う委託費の増

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成9年度
------	-----------	------	-------

平成26年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進		事業・枝事業番号	5-5	
事業名	日本語スピーチコンテスト			担当課	文化交流課
				変更内容	-
目 的	1. 来日2年以内、区内在住、在学、在勤の外国人が日ごろの日本語学習の成果を発表する。 2. 地域に暮らす外国人が日本や日本人をどのように見ているか、感じているかということを広く区民に知ってもらい、外国人との共生社会づくりを進める。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	307	296	11	大科目	事業費
区補助金	590	586	4	種別	自主事業
経常収益計	897	882	15	(単位: 千円)	
事業費	307	296	11		
人件費	590	586	4		
経常費用計	897	882	15		

事業の計画

<p>1 実施内容(予定) 日時:平成26年6月21日(土) 会場:新宿文化センター小ホール 内容:来日2年以内の区内在住、在学、在勤の外国人による日本語スピーチコンテスト 共同主催:東京四谷ライオンズクラブ</p> <p>2 成果指標 (1) 発表者数/18人(平成25年度実績:21人) (2) 来場者数/180人(平成25年度実績:147人)</p> <p>3 実施上の課題 (1)今後も広く募集を行い、国籍などの多様化も含め多くの外国人が出場できるよう周知する。 (2)多くの区民にコンテストの内容を知ってもらう機会として複数の手段(動画など)について検討し、導入していく。</p> <p>4 顧客満足度の向上方策 一般区民が関心をもち来場する周知方法・内容を検討・実施し、来場者数の増加を図る。</p> <p>5 実績 平成23年度 発表者数:14人 来場者数:150人 平成24年度 発表者数:14人 来場者数:118人 平成25年度 発表者数:21人 来場者数:147人</p> <p>6 対前年度予算増減説明 (1)ボランティア謝礼(クオカード)計上による消耗品費の増 (2)ボランティア保険加入による保険料の増</p>	<p>根拠法令</p> <p>新宿区自治基本条例</p> <p>事業開始</p> <p>平成5年度</p>
--	---